

# 「安心・安全」なまちづくりへ 日本共産党の4議席



小田 桐たかし 植田 和子 高橋あきら いぬい えり

## 防災 トイレトレーラー配備を

『安心・安全』は市民の共通した願いです。この願い実現に歩みを進めるわけにはいきません。一緒に力を合わせましょう。

能登半島地震では、トイレの重要性が再認識されました。特にトイレトレーラーは移動でき、清潔を保ち、安心できる空間が確保できると被災者から好評です。国も財政支援を行い、柏市は2台購入も。

日本共産党を含めた市議会全会派が一致して要望しても、市長が首を縦に振りません。市民と議会の共同をさらに広げ、実現させましょう。



能登町立松波中学校(避難所)に設置されたトイレトレーラー

## 防犯

### 防犯機能付き 電話機購入に助成を

頻発化・凶悪・高度化する特殊詐欺や強盗。防犯対策の強化は待ったなしです。

防犯機能付き電話は警察庁も推奨し、近隣市では購入費助成の実施なし。



ど対策強化に取り組んでいます。いっぽう市は「だまされない心構え被害者の自己責任」を繰り返すだけ。防犯対策の強化を願う世論と運動で市政を動かしましょう。

## ねほりはほり 市議会

### 議員手当引き上げ?

議員の期末手当引き上げ議案が可決(日本共産党だけが反対)。市職員の給与等改定に便乗したもので、法令等の裏付けはなく、「忬度」だけ…。市民に理解されるでしょうか。

### 「核兵器廃絶」に背を向ける動き

被団協(日本原水爆被害者団体協議会)がノーベル平和賞を受賞。「平和大使」となった市内の子どもたちの願いにも合致しています。しかし、市議会には背を向ける動きも…。「核なき世界」実現へ、共同が不可欠です。

※1面下段の星取表参照

## 医療介護

### 介護の安心 「壊さないで」



深刻な人手不足が続く医療や介護。報酬「改定」といっても、物価高騰に及ばず、実質はマイナスに。特に訪問介護は深刻さを増し、事業所の閉鎖・倒産が相次いでいます。

介護の改善を国に求める陳情を不採択に。日本共産党は、最後まで陳情採択を求めました。また政府にも緊急の財政措置を提言するなど、力を尽くしています。

## ごみ処理

### 事業系ごみの出し方変更 市民の声に応えた制度に

事業系ごみの出し方を強引に変更した結果、「自区内処理(市内で発生したごみは市内で処理)」というごみ処理の原則まで壊し始めています。

R6年は83%も減少(4〜9月)。残りは「市外・県外で処理されているだろう…」とのこと。市が掲げる「ゼロカーボンシティ(CO2等の温室効果ガスの排出量実質ゼロの都市)」の本質が問われています。

## 市長肝入り 観光会社 お先真っ赤!?

市長肝いりで設立した「観光株式会社(流山版DMO)」。しかし公費を投入しても、営業利益は3年連続の赤字、借金は6千万円越えにも(23年度末)…「お先真っ赤」です。それでも公費投入を増額するというのですから、税金の使い方が間違っています。



今春開設予定の白みりんミュージアム。これが、市長公約「1円まで活かす市政」の姿でしょうか。

## 身近な要求実現



側溝のフタ 修繕 (加6丁目) いぬい えり



前ヶ崎城址公園の東屋とベンチの改修 高橋あきら



老朽校舎、リニューアル工事実施中(江戸川台小学校) 植田和子



事故なくせー自治会の取り組みを後押し(おおたかの森北) 小田桐たかし